

施工説明書

サティス S タイプ 機能部

DV-S816 型

DV-S815 型

DV-S826 型

DV-S825 型



メーカー管理用です。

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。※壁リモコン・スマートリモコンの場合、ペアリング設定が必要で、必ずペアリング設定を行ってお客さまにお渡しください。

お客さまへ

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにおまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

施工手順

- 1 止水栓の取付け
- 2 便器の取付け
- 3 機能部の取付け
- 4 給水ホースの取付け〈機能部側〉
- 5 給水ホースの取付け〈止水栓側〉
- 6 電源の接続
- 7 壁リモコンのペアリング設定・取付け
- 8 給水管の空気を抜く
- 9 ストレーナーの清掃
- 10 試運転
- 11 サイドカバーの取付け

快適機能とは

お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。

- 便座・温水の温度*
- 脱臭機能
- 節電機能
- 温風始動温度切替
- 便座ヒーターオート OFF
- 鉢内除菌

*：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※機種によっては、一部機能がない場合があります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

- コンセントは AC100V、定格消費電力 1300 W に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。
- すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- 必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。
- アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
- ※施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障するおそれがあります。

使用する水は？

- 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。
- 中水道や工業用水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 水圧判定には、専用治具 (CWA-234) をお使いください。
- 他の器具を同時使用した場合でも 0.07MPa 以上 0.75MPa 以下の給水圧力が必要です。この最低水圧に満たない場合は、十分な洗浄機能が得られない場合があります。
- 給水圧力が 0.75MPa を超える場合には、減圧弁を使用して減圧してから設置、ご使用ください。
- 下記の必要水圧対応表を参照ください。

| 給水圧力 | 低流動圧対応 プースター無 | 低流動圧対応 プースター(※)付 |
|------|-----------------------|-----------------------|
| | 静水圧 | 0.07MPa (17L/分) 以上 |
| 流動圧 | 0.07MPa (17L/分) 以上 | 0.05MPa (13L/分) 以上 |

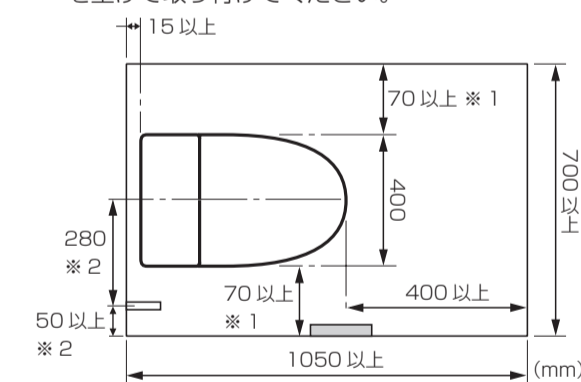
※給水圧力が満たない場合は、オプション品：低流動圧対応プースター (品番：CWA-282) をご使用ください。

※低流動圧対応プースターを取り付ける場合、CWA-282 に同梱されている説明書をご確認ください。

●給水管が 15A 未満の場合、十分な洗浄機能が得られない可能性があります。給水管 15A 以上の配管を使用してください。

必要なスペースは？

- 上部に棚などを設置する場合、おそうじリフトアップや点検時のため、床から 1150mm 以上の空間を確保してください。
- 必要なトイレスペースは下図のとおりです。
- ※1 製品に向かって右側・左側ともに 70mm 以上の空間を確保してください。70mm 未満ですと動作の妨げになる場合があります。
- ※2 止水栓の標準取付位置は便器中心から 280mm になります。止水栓は壁から 50mm のスペースを空けて取り付けてください。



機能部を設置する前に

機能部は、便器を設置してから施工してください。

機能部を床に置かない

機能部を床に置くことは、絶対にしないでください。
※取付ボルト・機能部給水口が折れるおそれがあります。

給水配管はしっかりと固定して！

本品は洗浄バルブ方式で、従来のタンク式とは異なり、急激な水圧により給水ホースに衝撃が加わり振動が発生する可能性があります。給水配管はぐらつかないように、しっかりと固定してください。
※振動、漏水するおそれがあります。

準備工具

- モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの) またはスパナ類 (17、23～26mm)
- プラスドライバー
- マイナスドライバー

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

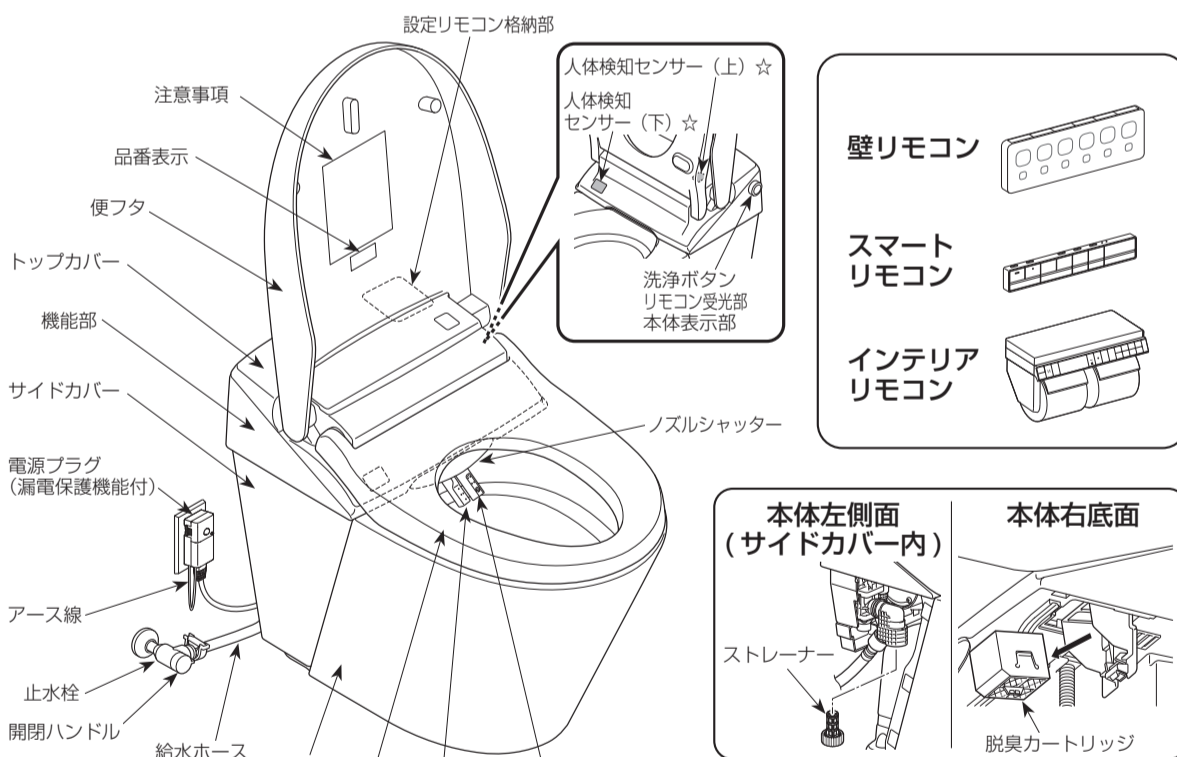
警告

- 指示実行** 施工説明書に従い、正しく施工する。
※感電・火災・ケガの原因になります。
※漏水し、室内浸水の原因になります。
- 分解禁止** 分解や改造は絶対に行わない。
※感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止** ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
※感電のおそれがあります。
- 指示実行** 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
- 水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※感電・火災の原因になります。
- 禁止** AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※感電・火災の原因になります。
- 指示実行** 電源プラグは根元まで十分差し込む。
※感電・火災のおそれがあります。
- 禁止** 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
※電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 禁止** ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※感電・火災の原因になります。
- アース接続** アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止** バスルームなどの湿気が多い場所には設置しない。
※感電・火災の原因になります。
- 禁止** 水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しない。
※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- 指示実行** 電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず資格を有する者が行う。
※火災・漏電のおそれがあります。
※不適切な工事を行うと、法令により処罰等されることがあります。

注意

- 指示実行** 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
※製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行う。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 指示実行** 厳寒時に取り付ける場合は、取り付けの前にはしばらく暖かい室内に放置する。
※本体内の残水が凍結し、故障の原因になります。
- 禁止** 電動下降中に本体と便器の間に手を入れない。
※手を挟んでケガをすることがあります。
- 指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
※漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
※凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
※凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行** 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ ※機種によっては、一部機能(☆印付)がない場合があります。



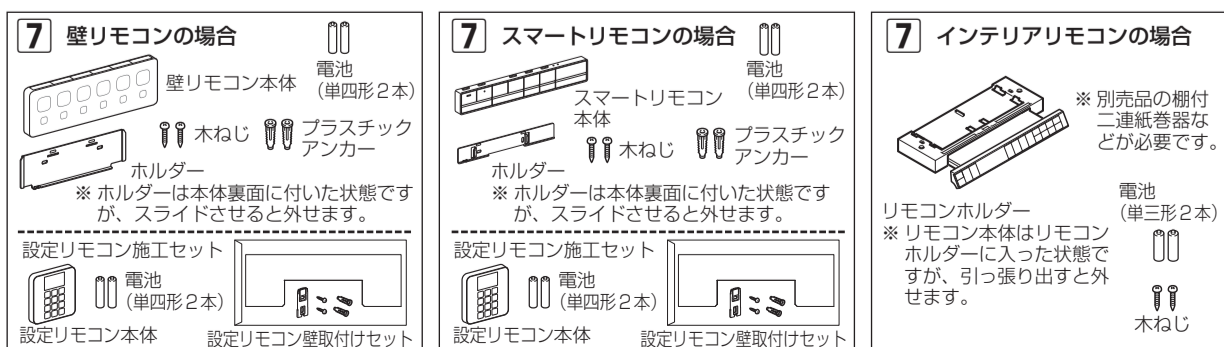
同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。



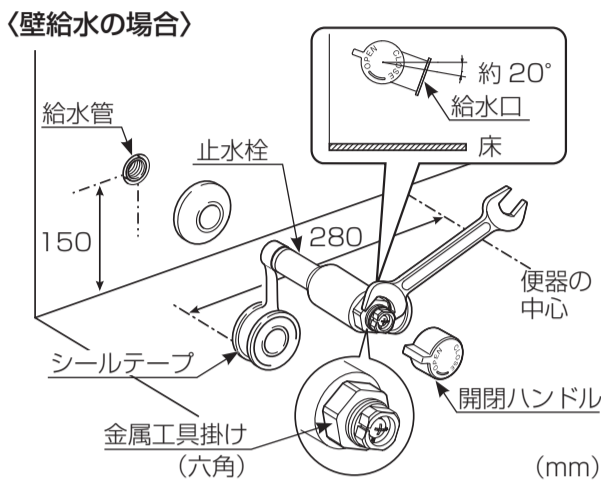
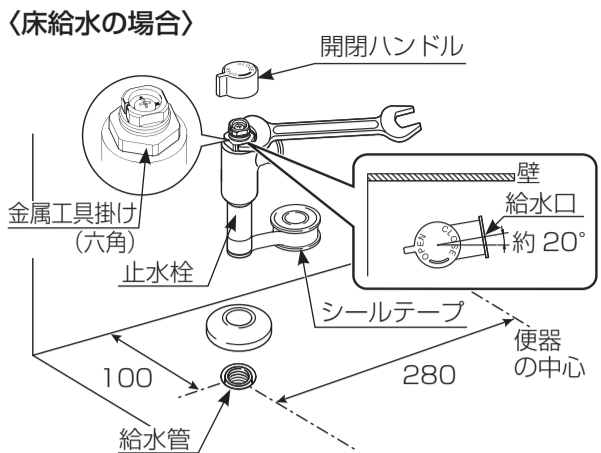
※壁リモコン以外のリモコンには専用の施工説明書が同梱されています。合わせてご確認ください。

説明書セット



1 止水栓の取付け

【注意 1-1 参照】 【注意 1-3 参照】 【注意 1-4 参照】

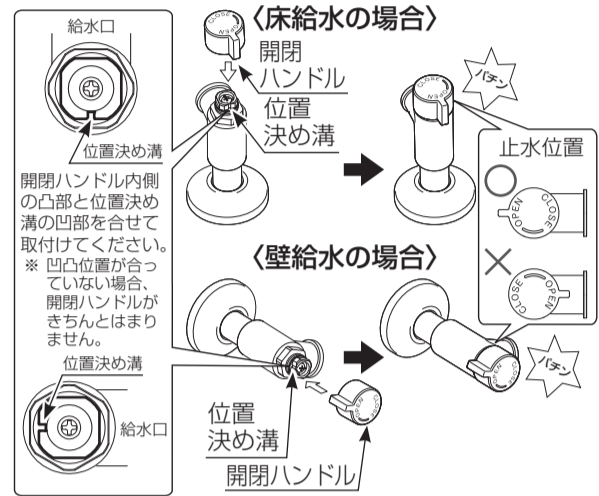


※ 24mm のスパナによる施工を推奨します。モンキーレンチなどご使用の場合は、工具掛けとの隙間が無いように調整した上で締め付けてください。

1. 給水管に止水栓を取り付ける。
壁・床仕上げ完了後に行ってください。止水栓のねじ部にシールテープなどのシーリング材を取り付けてください。
※ 止水栓本体の工具掛け部（六角）に工具を掛け、しっかりと締め付けてください。

【注意 1-2 参照】
床給水の場合・・・給水口は約 20° 壁面側に傾けて取り付けます。
壁給水の場合・・・給水口は水平より約 20° 下向きに取り付けます。
※ リトイレの場合はホースの長さに合わせて、向きを変更してください。

2. 開閉ハンドルを取り付ける。
※ ハンドルが止水位置になっていることを確認してください。



2 便器の取付け

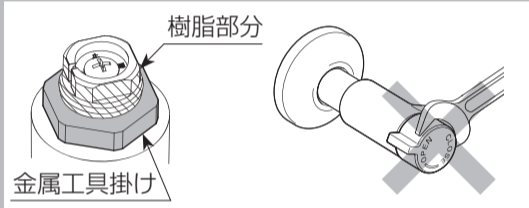
1. 便器と同梱されている専用の施工説明書にしたがって、便器を取り付ける。

【注意 1-1】

- 止水栓に手をかけたり、踏んだりしない。
※ 配管がグラついたり、止水栓が破損して漏水の原因になります。
- ※ 壁や床を傷めるおそれがあります。
- 止水栓の給水口は、給水ホースが折れないように取り付ける。

【注意 1-2】

- 工具は必ず金属工具掛け部（六角）に掛ける。
※ 止水栓が破損して漏水の原因になります。



【注意 1-3】

- 適切な給水ホースの長さ、止水栓の向きを守る。
※ 給水ホースがサイドカバーに干渉し、サイドカバーが外れます。



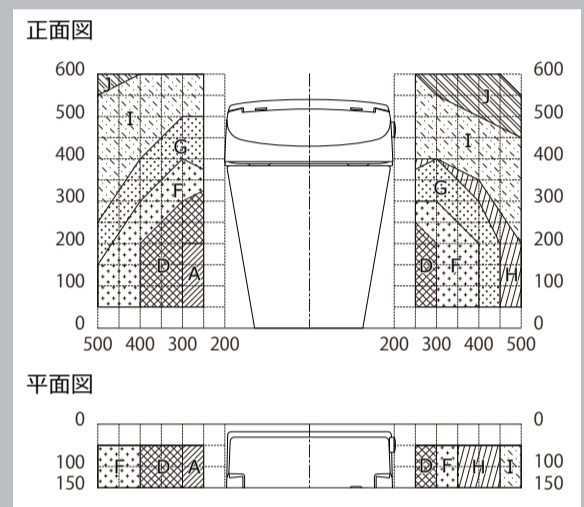
【注意 1-4】

- 便器の種類によって給水位置対応範囲が異なります。下記の給水位置対応範囲をご確認の上、正しく施工を行ってください。
- 給水位置が同梱されるホースの対応範囲にない場合は、長さ違いのオプション給水ホースをご購入ください。
- 給水位置が下記の「A～J」以外の場合は取り付けできません。
- 「A～J」の対応範囲に適合する給水ホースの品番と長さは、下表を参照ください。

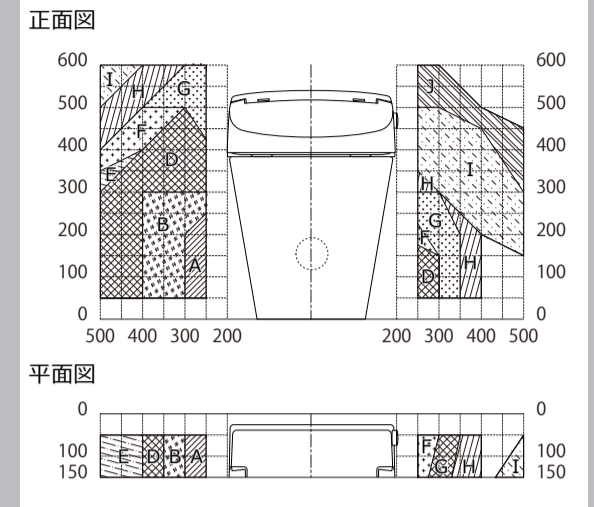
| 給水位置 | 本体給水ホース品番 | ホース長さ |
|------|--------------|--------|
| A※1 | 322-1149-41 | 410mm |
| B | 322-1149-48 | 480mm |
| C | 322-1149-52 | 520mm |
| D | 322-1149-58 | 580mm |
| E | 322-1149-62 | 620mm |
| F | 322-1149-65 | 650mm |
| G | 322-1149-70 | 700mm |
| H | 322-1149-75 | 750mm |
| I※2 | 322-1149-90 | 900mm |
| J | 322-1149-100 | 1000mm |

※ 1：床排水、床上排水に同梱
※ 2：リトイレ、床上排水 155 タイプに同梱

《床排水・リトイレの場合》



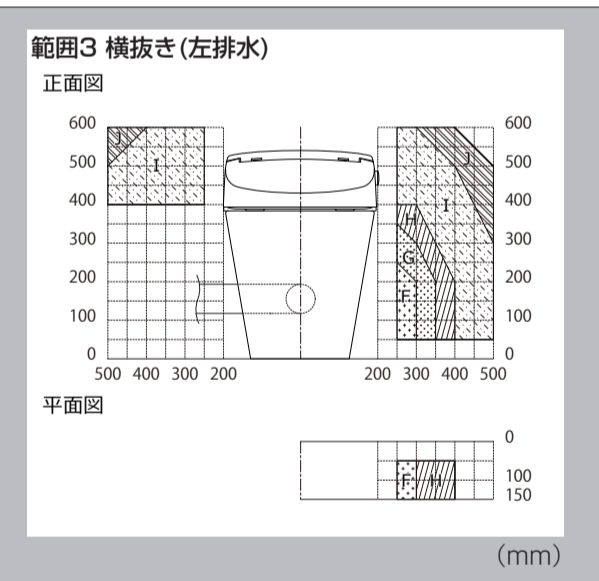
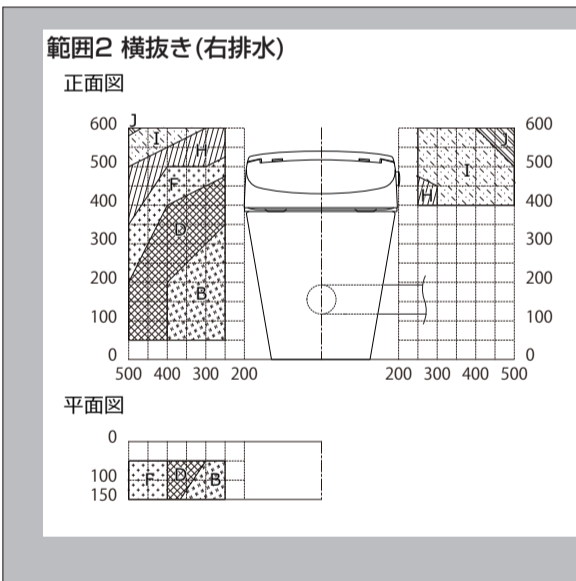
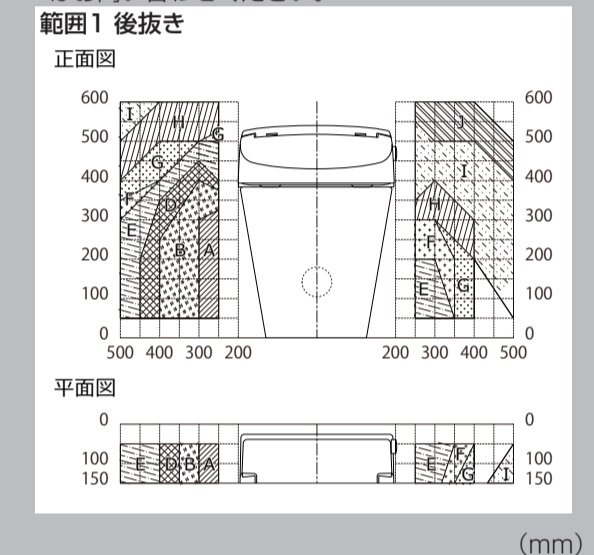
《床上排水の場合》



《床上排水 155 タイプを設置する場合》

| 排水方向 | 前出寸法 | 対応範囲 |
|--------|------------|--------------|
| 後抜き | 670～745mm※ | 基準施工範囲(範囲 1) |
| 横抜き右排水 | 820mm | 範囲 2 |
| 横抜き左排水 | 820mm | 範囲 3 |

※ 範囲 1 は 670mm での給水位置対応範囲となります。これ以外の前出寸法での対応範囲についてはお問い合わせください。

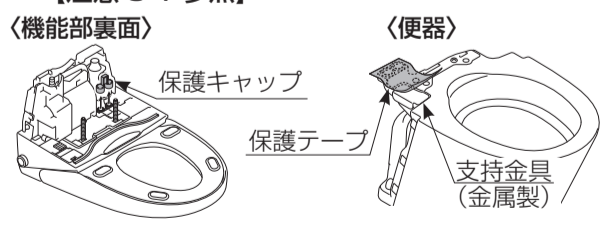


3 機能部の取付け

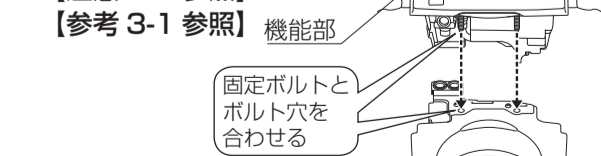
取付図



1. 保護キャップ、保護テープを外す。
【注意 3-1 参照】



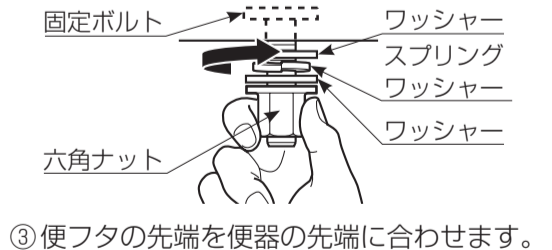
2. 機能部を便器に設置する。
【注意 3-2 参照】 【参考 3-1 参照】



3. 機能部を固定する。

① 固定ボルトにワッシャー（2枚）とスプリングワッシャーを通し、六角ナットを取り付けます。
【注意 3-3 参照】

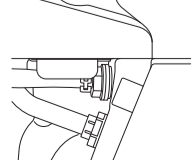
② 手で仮締めします。
【注意 3-4 参照】



③ 便フタの先端を便器の先端に合わせます。
便器のフタが見えている。

④ 同梱の工具で確実に取り付けます。
(締付トルク 2.0～2.5N・m {20～25kgf・cm})

< 正常な場合 >



【参考 3-1】
● 本体が便器と密着しない場合、通水路が正しく接続されていない可能性があります。本体を左右に少し動かしてしっかりと密着させてください。

【注意 3-1】

- 支持金具（金属製）は外さない。
- 保護キャップ、保護テープが外れていることを確認する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 3-2】

- 本体がしっかりと便器と密着していることを確認する。
- 便器および機能部の洗浄水口部にゴミなどの付着がないことを確認する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 3-3】

- 必ず①ワッシャー ②スプリングワッシャー ③ワッシャーの順番で取り付ける。
※ 機能部の横ズレ等の原因になります。

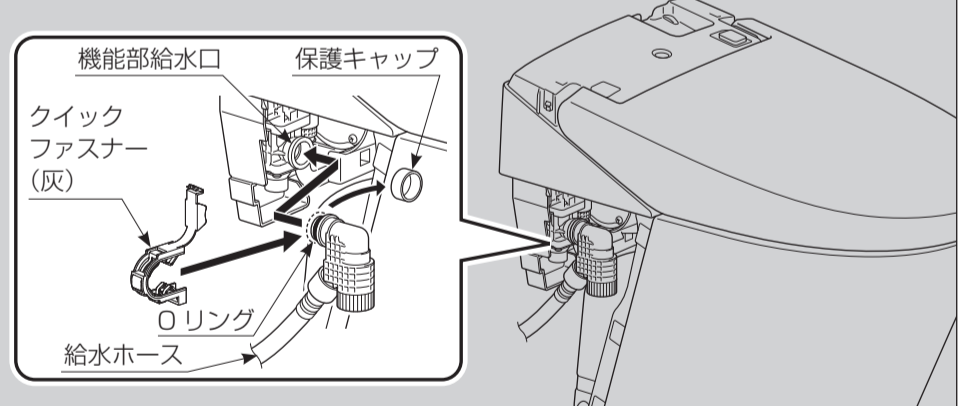
【注意 3-4】

- 六角ナットは片利きにならないよう、左右交互に少しずつ締め付ける。
※ 漏水の原因になります。

4 給水ホースの取付け 〈機能部側〉

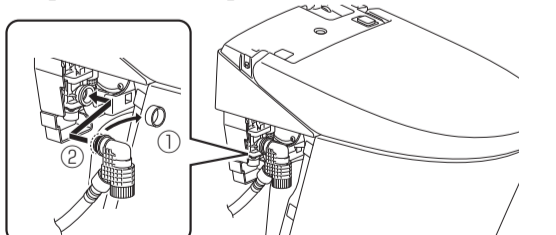
取付図

給水ホースに無理な力が加わらないように取り付ける。



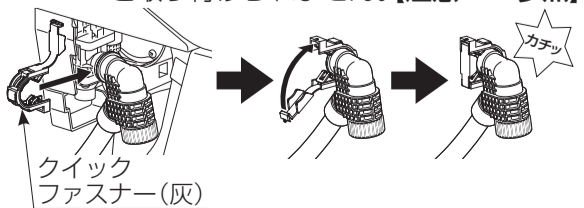
1. 給水ホースを機能部側に取り付ける。

- ① 保護キャップを外します。
- ② 本体給水ホースを差し込みます。
【注意 4-1 参照】



③ クイックファスナーを折り曲げ、給水ホースと機能部給水口を確実に固定します。
【注意 1-3 参照】 【注意 4-2 参照】 【注意 4-3 参照】 【参考 4-1 参照】

- ・ 取付け後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。
- ・ また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。
- ・ クイックファスナーは図の向きでないと取り付けられません。【注意 4-4 参照】

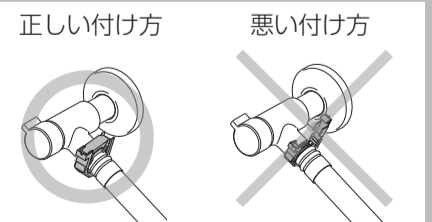


【注意 4-1】

- 給水ホース止水栓側のキャップは、止水栓と接続する直前に外す。
※ 施工中に給水ホース内へゴミなどが入り、止水不良となるおそれがあります。

【注意 4-2】

- Oリングにキズを付けないように注意する。
※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。
- クイックファスナーは確実にはめ込む。



【注意 4-3】

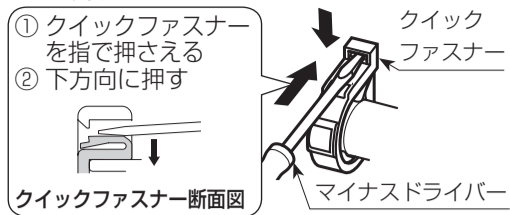
- クイックファスナーの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。
※漏水の原因になります。

【注意 4-4】

- クイックファスナーは本体の横から確実に差し込む。
※斜めから差し込むと、クイックファスナーを折り曲げて固定することができません。

【参考 4-1】

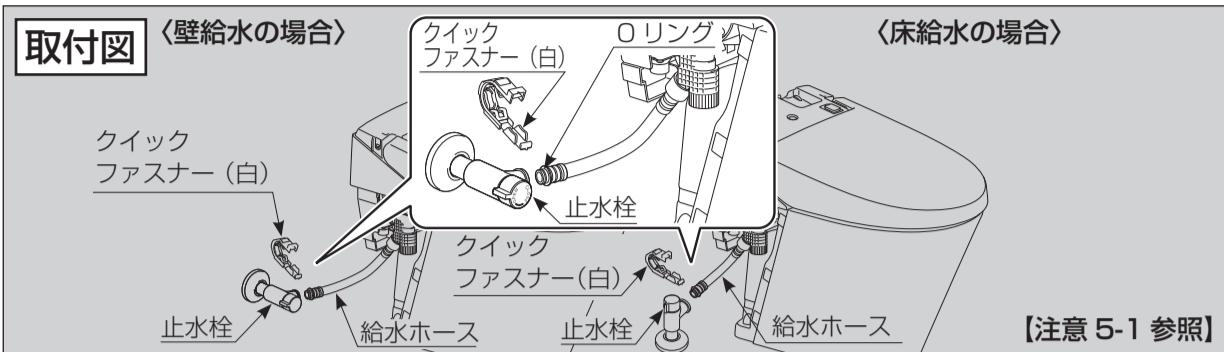
- クイックファスナーを外す際は、下方向に押し下げて外す。



クイックファスナー断面図

マイナスドライバー

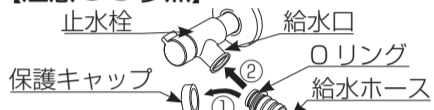
5 給水ホースの取付け〈止水栓側〉



【注意 5-1 参照】

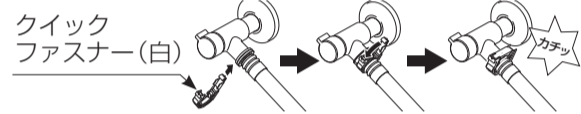
1. 給水ホースを止水栓側に取り付ける。

- ① 保護キャップを外します。
- ② 本体給水ホースを差し込みます。
【注意 1-3 参照】 【注意 5-2 参照】
【注意 5-3 参照】



- ③ 機能部給水口側と同様にして、クイックファスナーを取り付けます。
【注意 4-2 参照】 【注意 4-3 参照】
【参考 4-1 参照】

- ・ 取付け後にクイックファスナーを回し、確実にハマっていることを確認してください。
- ・ また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

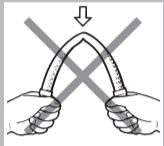


【注意 5-1】

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。

【注意 5-2】

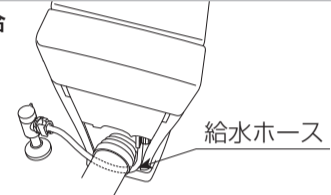
- 給水ホースは鋭角に曲げたり、引っ張られている状態にしない。一度折れたホースは使わない。
※破損して漏水するおそれがあります。
※洗浄不良の原因になります。



【注意 5-3】

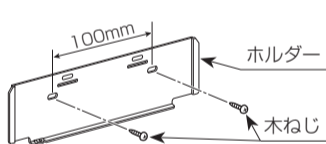
- 床上排水で右給水の場合は、給水ホースを排水管の下を通して止水栓に接続する。

右給水の場合

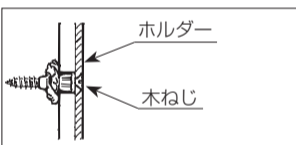


2. リモコンの取付け

1. ホルダーを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付ける。
【注意 7-1 参照】 【注意 7-3 参照】

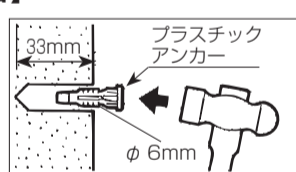


- ③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。締め付けていくと最初は固く、いったんゆるくなって再び固くなります。



【コンクリートの場合】

- ① 直径 6mm、深さ約 33mm の下穴をあけます。



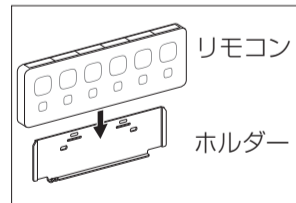
- ② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。



- ③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。

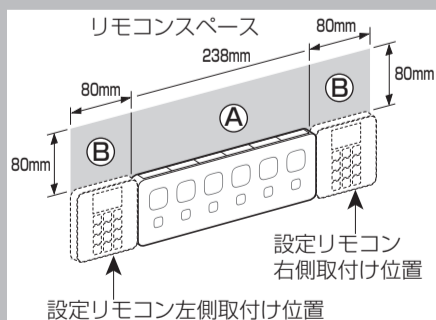
2. リモコンをホルダーに取り付ける。

- リモコンをホルダーの上に合わせ、下へ押し下げてリモコンを取り付ける。



【注意 7-1】

- リモコン取付位置の周囲に、必要なスペースが十分あることを確認する。
・ 脱着する場合 ④
・ 設定リモコンを左右に取付ける場合 ⑤



【注意 7-2】

- 電池のプラスとマイナスの向きを間違いないように入れる。
- 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- 同梱の電池を使用する。

【注意 7-3】

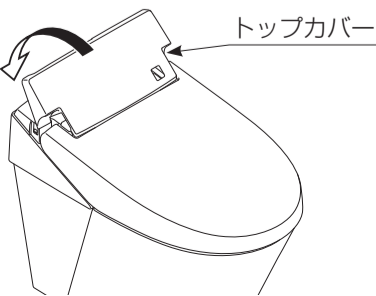
- 電動工具は使用しないでください。
※ 部品が破損するおそれがあります。

3. 設定リモコンの取付け

設定リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

1. トップカバーを取り付ける。

- 便座、便フタを閉じた状態で作業してください。

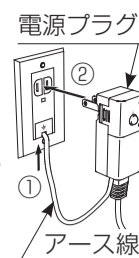


6 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意 6-1 参照】

- ① アース線を接続します。
- ② 電源プラグを差し込みます。
・ 本体がお掃除リフトアップしている場合、電源が入ると自動で下がります。
・ ノズルの位置設定のためノズルが約 15 秒間伸びて戻ります。



⚠ 警告



- 確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

2. 本体が下りていることを確認する。

3. 電源が入っていることを確認する。
本体の電源表示、電源ランプが点灯していることを確認してください。

- 洗浄ボタン (表示部)

電源表示



【注意 6-1】

- 必ず施工が終了してから電源を入れる。
- 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。
- リセットボタンを押しても電源ランプ (緑) が点灯しない (電源プラグの表示ランプが点灯する) 場合は、200V が通電していないかを確認する。

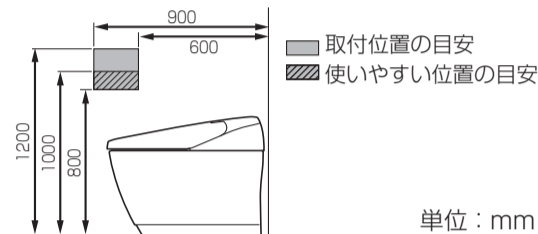
7 壁リモコンのペアリング設定・取付け

本書では壁リモコンについて説明しています。壁リモコン以外の施工方法については、専用リモコンに同梱されている施工説明書をご覧ください。

● リモコン取付位置

- リモコンは操作できる範囲内に取り付けてください。

下図の「取付位置の目安」の範囲で、便座に座った状態で操作しやすい場所に取り付けてください。



単位：mm

● 必ず便座に座って確認してください。

【注意 7-1 参照】

- リモコンを取り付けようとする位置に仮置き、実際に便座に座って【止】を押します (施工完了後の試運転も必ず行ってください)。

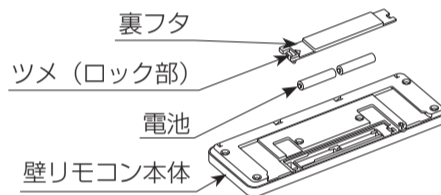
その後、便器前に立ち【止】を押して、本体から「ピー」という音が鳴る (受信正常) ことを確認します。
・ 【おしり】や【ピデ】を押すと水が噴出しますので注意してください。
・ リモコン取付位置の上方にリモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。



施工方法

1. 電池の装着・壁リモコンのペアリング設定・取付位置の確認

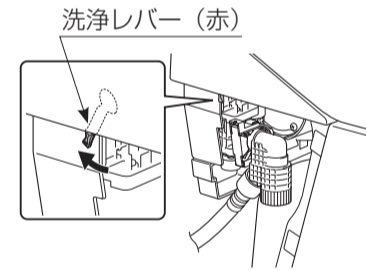
1. ホルダーをリモコン本体から外す。
2. リモコンの裏フタを外し、付属の電池 (単四形 2 本) を入れる。【注意 7-2 参照】
※ 裏フタを外しにくい場合、マイナスドライバー等の工具でツメ (ロック部) を押えて外してください。



3. リモコンをシャワートイレ本体に近づけて、【止】を押す。
※ 洗浄強さランプが約 5 秒間点灯してペアリングが完了します。
4. 再度壁リモコンの【止】を押し、シャワートイレ本体から「ピー」と音が鳴るのを確認する。
5. リモコンの取付位置を確認する。

8 給水管の空気を抜く【注意 8-1 参照】

1. 止水栓を全開にします。
2. 洗浄レバー (赤) を奥に回し、給水管内の空気がなくなるまで保持します。
※ 洗浄レバー (赤) を手前に回さないでください。給水管内に空気が残っていると鉢洗浄水が便器から飛び出ます。

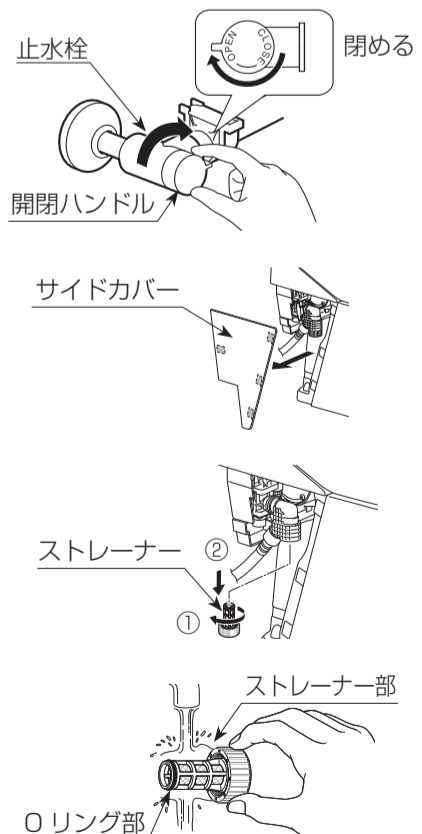


【注意 8-1】

- 給水管内に空気が残っていると、洗浄した際に水が便器から飛び出ます。

9 ストレーナーの清掃

1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
【注意 9-1 参照】
2. 流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す。
※ 20 秒程度時間をあけてください。
※ 内部にたまっている水と圧力を抜きます。
3. 本体向かって左側面のサイドカバーを外す。
4. 本体向かって左下の「ストレーナー」を回して外す。
※ このとき少量の水がこぼれますので、布などを下に置いてください。
5. 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に取除く。
6. 「ストレーナー」をしっかり締め付ける。
【注意 9-2 参照】
7. サイドカバーを取り付ける。
8. 「止水栓」を全開にする。
9. 止水栓部から水漏れしていないか確認する。



【注意 9-1】

- 止水栓を開けたままストレーナーを外さない。
※ ストレーナー部から漏水します。

【注意 9-2】

- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
※ 確実に締めないとストレーナー部から漏水します。

【注意 9-3】

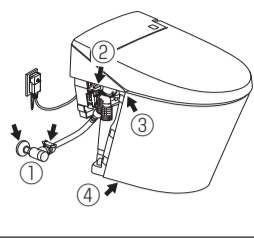
- 本体内部に残っている水の抜き方
※ (インテリアリモコンの場合)
リモコンの【ノズルそうじ】と【おしりターボ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。

10 試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

●水漏れ箇所はありませんか?【注意 10-1 参照】

1. 洗浄ボタンを押して、洗浄します。

| チェック欄 | 確認内容 |
|--------------------------|---|
| | 漏水していませんか? ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。) |
| <input type="checkbox"/> | ① 止水栓部および給水ホースとの接続部 |
| <input type="checkbox"/> | ② 本体と給水ホースとの接続部 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 本体と便器の接続部 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 便器と床との接続部 |



●おしり・ビデ洗浄は正常ですか?【注意 10-2 参照】

1. 腕まくりをして、肌で便座に触れます。

| 確認機能 | チェック欄 | 確認内容 |
|------------|--------------------------|--|
| おしり ノズル | <input type="checkbox"/> | 1. ノズルから適温の温水が出ますか? ①【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。 |
| | <input type="checkbox"/> | 2. 【止】を押すと温水が止まりますか? |
| ビデ ノズル | <input type="checkbox"/> | 1. ノズルから適温の温水が出ますか? ①【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。 |
| | <input type="checkbox"/> | 2. 【止】を押すと、温水が止まりますか? |



2. 便座から腕を離します。

●便器洗浄は正常ですか?

| 確認機能 | チェック欄 | 確認内容 |
|------|--------------------------|---|
| 洗浄確認 | <input type="checkbox"/> | 便鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、1 回の洗浄で流れますか? ※ もし 1 回の洗浄で流れない場合は、下記の項目を確認してください。 ・ ストレーナーにゴミや詰まりはないか? ・ 止水栓を全開にしたか? ・ 給水ホースは折れていないか? ・ 水圧は適正か? |

【注意 10-1】

● 給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合がある。

【注意 10-2】

● 着座センサーがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座している状態にしないと作動しない。

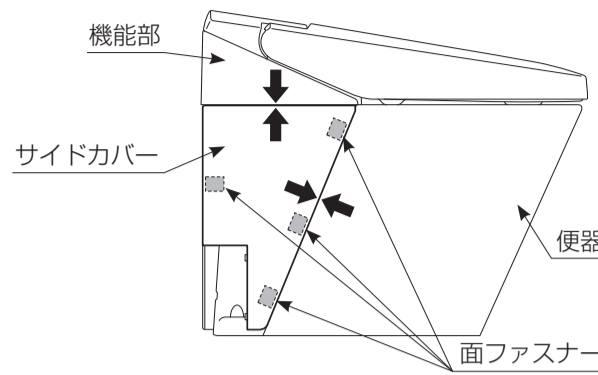
11 サイドカバーの取付け

1. 左右のサイドカバーを取り付ける。

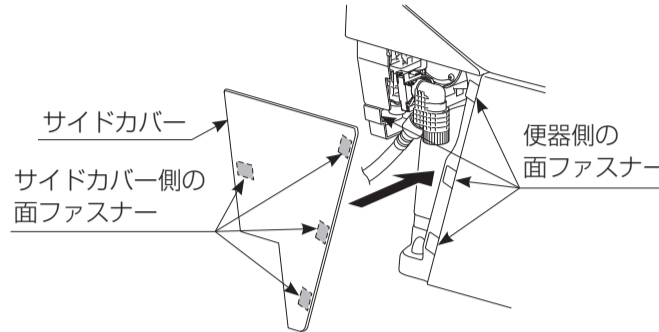
【注意 1-3 参照】【注意 11-1 参照】

【参考 11-1 参照】

- ① サイドカバーと便器・機能部のライン (矢印の位置) を合わせる。



- ② サイドカバー側の面ファスナー 4ヶ所と便器側の面ファスナー 4ヶ所で便器に取り付ける。

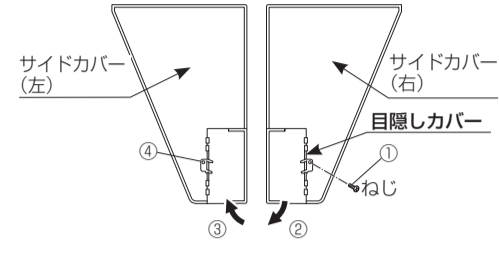


- ③ 4ヶ所の面ファスナー部分を軽く押し取り付けていることを確認する。

【参考 11-1】

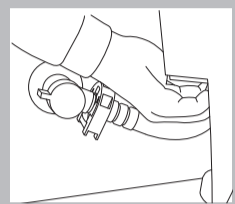
● 止水栓が便器に向かって右側にある場合 サイドカバー (右) についている目隠しカバーをサイドカバー (左) に取り付ける。

- ① サイドカバー (右) 裏面のねじを外します。
- ② サイドカバー (右) の目隠しカバーを外します。
※ 矢印の方向に取り外します。
- ③ サイドカバー (左) に目隠しカバーを取り付けます。
※ 矢印の方向に取り付けます。
- ④ サイドカバー (左) 裏面にねじを取り付け、目隠しカバーを固定します。



【注意 11-1】

● サイドカバーが給水ホースと干渉しないことを確認する。干渉する場合、止水栓の向きか給水ホースの長さが適切ではありません。



※ 止水栓の向きを調節する場合、必ず締付ける方向に調節してください。緩める方向に調節すると漏水のおそれがあります。
※ 給水ホースの長さは 6 ページの【注意 1-4】給水位置対応範囲表で確認し、給水位置に合った給水ホースの手配をしてください。

シャワートイレ本体・リモコンが作動しないときは次のことを確認してください。

■ リモコンのペアリング設定または発信信号の変更が必要になります。

【壁リモコン・スマートリモコンの場合】

同梱の「ペアリング (登録) 設定」をご覧ください。

【インテリアリモコンの場合】

リモコン専用の施工説明書「併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために」をご覧ください。

次のような場所では、スマートフォン通信機能を OFF にしてください。

● 病院などの医療機関内

誤動作・事故の原因となることがあります。

【壁リモコン・スマートリモコンの場合】

設定リモコンで行います。

- (1) 設定リモコンで画面が「コード入力」になるまで【モード切替】を押します。
- (2) 「1305」を入力し、【決定/モード切替】を押します。
※ セット完了時「ピー」という音がなります。
※ 設定リモコンの操作方法は、設定リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。



【インテリアリモコンの場合】

- (1) 洗浄強さ【+】と【乾燥】を同じタイミングで 6 秒以上押します。
※ セット完了時「ピー」という音がなります。



自治体によって洗浄水量の規制がある場合

● 大洗浄 8L (小洗浄 6L) 仕様としてお使いいただけます。

| 壁リモコン・スマートリモコン 設定リモコンで行います。 ※ 設定リモコンの操作方法は、設定リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。 | インテリアリモコン |
|---|--------------------------------|
| 設定リモコンで画面が「コード入力」になるまで【モード切替】を押す、「1300」を入力、【決定/モード切替】を押す。 ※ セット完了時、「ピッ」という音がなります。 ※ 洗浄水量が 1L 増えます。 | 流す【大】と【マイルド】を同じタイミングで 2 秒押す。 |
| 再び【決定/モード切替】を押す。 ※ 画面の「1300」の表示は約 3 秒で消えます。 消えた場合、再度同じ操作を行い「1300」を画面に表示した状態で【決定/モード切替】を 2 回押してください。 ※ セット完了時、「ピッ」という音がなります。 ※ 洗浄水量が最大水量の大洗浄 8L、小洗浄 6L になります。 ※ これ以上同じ操作を行っても洗浄水量は変わりません。 | 再び流す【大】と【マイルド】を同じタイミングで 2 秒押す。 |



● 増やした洗浄水量を出荷時に戻せます。

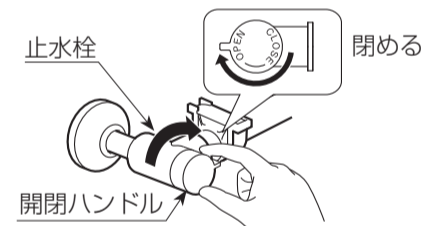
| | |
|--|---------------------------------|
| 設定リモコンで画面が「コード入力」になるまで【モード切替】を押す、「1304」を入力、【決定/モード切替】を押す。 ※ セット完了時、「ピー」という音がなります。 ※ 増やした洗浄水量をお買い上げ時の設定に戻せます。 | 【流す大】と洗浄位置【後】を同じタイミングで 2 秒以上押す。 |
|--|---------------------------------|

便器洗浄水量を変更した場合、便器鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、これが 1 回の洗浄で排出できることを確認する。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

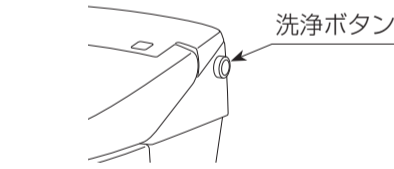
- (1) 「止水栓」を閉めて、給水を止める。

【注意 9-1 参照】



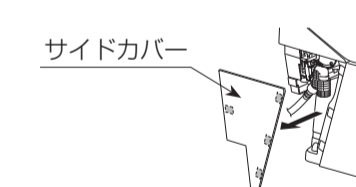
- (2) 流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す。

※ 10 秒程度時間をあけてください。
※ 便器洗浄の水が流れないことを確認してください。



- (3) 給水ホースから水を抜く。

- ① 本体に向かって左側にあるサイドカバーを外す。
- ② 「ストレーナー」の下に洗面器などを置く。
- ③ ストレーナーを外して、ストレーナー部や Oリング部に付いているゴミを水洗いして完全に除去する。
- ④ クイックファスナーを外し、止水栓側の給水ホースを外す。



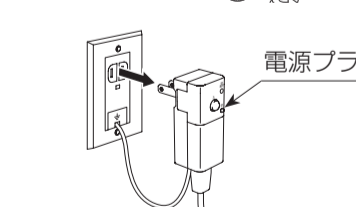
【参考 4-1 参照】

- ⑤ 給水ホース内の水を抜く。(約 100cc 程度)
- ⑥ 「0907」を入力し、【決定/モード切替】を押す。
※ 約 15 秒間本体内の残水を水抜きします。
※ 設定リモコンの操作方法は、設定リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

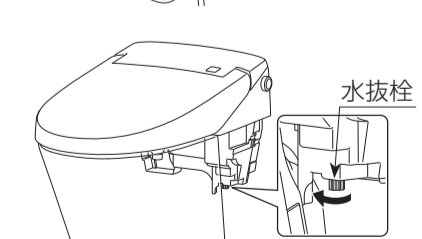


(インテリアリモコンは【注意 9-3 参照】)

- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜く。
- ⑧ 水抜きが終わったら給水ホースを取り付け、クイックファスナーを「カチッ」と音がするまで取り付ける。【注意 4-2 参照】
- ⑨ 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける。



- (4) <低流動圧対応プースター付の場合>
本体に向かって右側にあるサイドカバーを外し、低流動圧対応プースターの「水抜き」をゆるめて水抜きし、水が抜いたら水抜きを閉める。
※ このとき水がこぼれますのでコップなどで受けてください。(約 100cc 程度)



- (5) サイドカバーを取り付ける。
- (6) 止水栓部から水漏れしていないか確認する。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※ 定期的な点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。